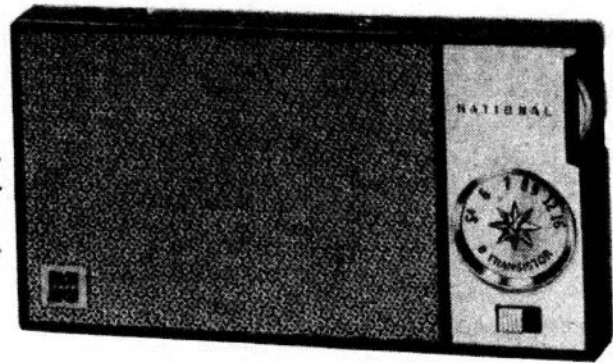


画期的超薄型 8石コンパクト タイプ



トランジスタポータブル T-12

このたび新発売しました、携行に便利なコンパクトタイプの8石トランジスタポータブル T-12 は、スピーカーやコンデンサー、抵抗などの部品を始め、新しく開発した部品の採用と新構想の設計により、超薄型 23.5 mm (‘いこい’ は 22mm) に完成したものです。

しかも、薄型にもかかわらず、従来のものと比べて優るとも劣らぬ感度を持ち、豊かな音量と美しい音質は、デザインのスマートさに輪をかけて、すばらしい魅力を発揮します。

それでは、この、薄型でありながら高性能を発揮する T-12 の特徴について、具体的に述べてみましょう。

【I】 優秀な高周波回路

感度を良くして、性能を安定させるために、高周波回路には、ドリフトトランジスタ (2 SA103) を用いた他励式周波数変換回路を採用しています。この回路の特徴は① AGC がかけられること、② S/N 比が良くなること、③ 低電圧 (3 V) でありながら、電池電圧の低下に対してもゲインの低下が少ないこと、④ 周波数特性が良くなることですが、試みにその特性の一部を図示しますと、第1図・第2図のようになります。

フェライトアンテナは、セットが薄型ではありますが

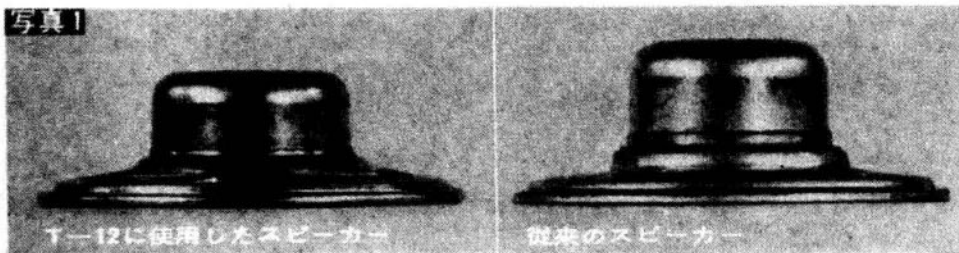
横に長い関係上、大型のフェライトアンテナ (8φ×100 mm) を内蔵でき、さらに、コイルにはリッツ線 (燃線) を使用しているため、従来に比べて S/N 比が良くなっています。

【II】 新開発部品の採用

T-12には、新しく開発した部品を多く採用しています。その主なものをあげますと、まず第一に、スピーカーがあります。T-12用として特に設計した超薄型の 6 cm スピーカーは、厚さが 17.8 mm で、従来の 6 cm スピーカーの厚さ (25.8 mm) と比べて、8 mm も薄型になったわけです(写真1)。しかも、薄型にもかかわらず、従来のスピーカーに比べて、なんら遜色のない性能を持っています。

そのほかバリコンには、小型ながら性能のすぐれたセラミックバリコン(写真2)を採用し、発振コイル、抵抗、電解コンデンサーなども新しく開発した超小型部品を使用しています。従来のもの

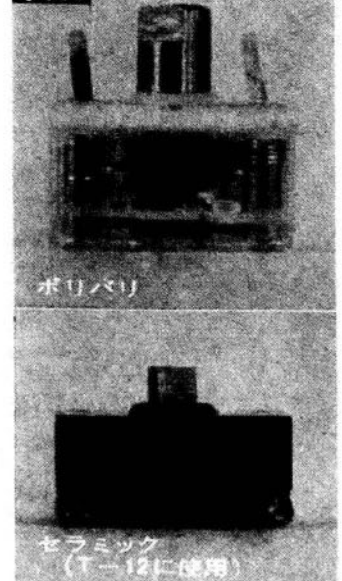
写真1



T-12に使用したスピーカー

従来のスピーカー

写真2



ポリバリ

セラミック
(T-12に使用)

と比べてどれだけ小型になったか見てみますと、下表のようになります。

	従来のもの	T-12
発振コイル	11×11×13.5mm	7×7×11.5mm
電解コンデンサー	13~15mm	8mm
抵抗	1/4W	1/6W
OPT, IPT	リード線	ピン式(差し込み式)
バリコン	ポリバリ (20×20×11.5mm)	セラミック (19×19×8.5mm)
スピーカー(6cm)	厚さ 25.8mm	厚さ 17.8mm

【Ⅲ】 雑音、歪が僅少

高性能のフェライトコアアンテナおよびドリフトトランジスタと相まって、AGC 回路には特に AGC が強くかかるようになっていきますので、強信号時の雑音が少なくなっています。

また、プリアンプ2段付き低周波回路は、B級プッシュアップの出力増幅を有し、パリオード (MA 23) で温度、低電圧、保障をしているため常に安定した歪の少ない特性を発揮します(第3図)。普通、放送を聞くときは、音量10mW が適当な大きさですが、T-12では第3図をご覧になればわかるように、10mW で歪率が2.6% (普通3~5%) という非常に少ない値を示しています。

【Ⅴ】 経済的な乾電池

電池電圧3V (特単3を2本...50円) の低電圧で高性能を発揮する本機は、従来の006P (130円) 使用のトランジスタポータブルラジオと比べて電池の寿命はほぼ同じで(1日4時間聞くとしますと約40時間)、しかも電池代は006Pの半分以下ですみますから、大変経済的です。また、電池を入れる電池ホルダーは、いちいちセットから取り出す必要はなく、電池の取り替えが容易なのも本機の特徴です。

【Ⅳ】 ワンサイド・コントロール方式

操作部(同調ツマミ、電源スイッチ兼用の音量調整ツ

マミ、音質切り替えツマミ)がワンサイドにまとめてありますから、指先で簡単に操作できる上に、ダイヤル駆動比も3:1に広げて選局をしやすくしてあります。このように、使い方の簡単なことが大きな魅力でもあるのです。

【Ⅵ】 音質2段切り替えスイッチ付き

高音、低音の2段に切り替えできるトーンスイッチ付きですから、お好みの音質で聞けることはもちろん、雑音が多くて聞き苦しいときは、聞き良い音質(低音)にして使用でき、大変便利です。

【Ⅶ】 性能を生かす各種外部接続端子

T-12は、以上の特色のほかに、外部の付属品をつけることによって、よりすぐれた性能を発揮します。

1. 外部アンテナ端子

T-12には優秀なフェライトコアアンテナを内蔵していますから、遠距離の放送も十分に聞けますが、より電波の弱い超遠距離放送を高感度で受信するには、この外部アンテナ端子に付属のアンテナリード線を接続して、室内の高いところに張るか、それでも電波が弱いときや鉄筋ビルなどの建物の中で聞くときは、屋外に張ってこのリード線につなげば、申し分ない受信ができます。

2. 外部電源端子

屋内でラジオを聞くときは、内蔵の小型電池より大型電池を使った方がより経済的です。

これは、セット裏面にある外部電源端子とナショナルホーム乾電池2D(3V)を、ホーム乾電池接続コードで接続すればよいわけです。

3. イヤホン端子

端子は2つあり、一方の端子は、イヤホンだけで聞くととき、他方の端子は、イヤホンとスピーカーから同時に聞けるようになっています。また、この端子はイヤホンだけではなく、大型のホームスピーカー(たとえばSPT-641型やSPT-501型など)もつなげ、ホームラジオのような美しい音で聞けます。

以上のように T-12 は多くの特色を持ち、薄型でありながら、これらのすべての性能を発揮できるよう設計し、品質を均一化し、どんな条件のもとでも、その性能を発揮するよう創り出されたものです。

